

スクールバス導入による学校選択制度説明会（R6 年 4 月 14 日（日）10：00～12：10）

Q	A
学校を変更した場合、変更先の児童クラブの定員はどうか。対策はあるのか。	児童クラブにつきましては、待機児童ゼロを目標に掲げているため、施設の増設や学校の施設を利用して、待機児童ゼロになるよう対応いたします。
来年度の児童クラブの児童数推計は行っているのか。	次年度の申込人数を確認して、受入できるよう対応します。 長期休暇時には申込が増えるため、その際も、学校施設を有効利用することを予定しています。 （担当課確認） 前年度の全体利用率と学校毎利用率のいずれか高い率（+α）で推計し、専用室に不足があれば学校の特別教室等を使用しています。
8月の時点で学校が決まり、児童クラブの申込は9月以降か。	児童クラブの申込は、学校が決定した後にになります。
3クラスずつ増えた場合、教室数はプラス6になるということか。	すべての申込が埋まった場合は、全学年1クラス増えるため、6クラス増えることになります。
1年生のクラスが毎年増えると思うが、教室数は足りるのか。	現在、保有教室数と書かせていただいておりますが、普通教室として使用できる部屋の数になっているため、別用途で使っている部屋を勘案すると、実際はもう少し保有していることになります。 ただし、黒内小学校の推計値の誤りということもありましたので、随時推計を行い、もし児童数が多くなって教室数が不足しそうな場合には、プレハブ校舎を設置する等の対応を検討していきます。
毎年学校を変更する児童が増えていった場合、朝のバス停は大人数で待つことになるが、対応についてどのように考えているか。	ヨークベニマルの駐車場をお借りした経緯として、初年度はバス1台程度であっても、それ以降はどんどん台数が増えることが予想されるため大きなスペースが必要となること、また、雨天時にはヨークベニマルの軒先で雨風が防げるため、こちらを選定させていただいたというものがあります。 また、バス停補助員を配置する予定である

	ため、子どもたちの安全は確保できると考えています。
スクールバスの運用がうまくいったら定員を増やすということはあるか。	何年後かに定員を増やすことはあるかと思っています。現時点でなぜ 3 クラスの定員にしているかという、他の学年が 2 クラスであることから、1 年生のみクラス数が大幅に変わってくると学校運営に影響がでてくるため、3 クラスを設定しています。
希望調査票は最終的に第 3 希望まで書くことになるのか。	希望調査票としては、第 1 希望から書くことができるようになっていきます。 ただ、第 3 希望に黒内小学校を書いたとしても、元々の就学先が黒内小学校ですので第 1 希望、第 2 希望の抽選で漏れた場合は黒内小学校になります。
小学校を選ぶのは中学校も視野に入れて選ぶべきなのか。御所ヶ丘小、郷州小、黒内小、それぞれどこの中学校か。	基本的に当市では、小学校区で中学校が決まりますので、御所ヶ丘小学校に通った場合は御所ヶ丘中学校になりますが、松並青葉地区の皆様に関しましては、特定地域選択制度であるため、元々の指定校である守谷中学校を選択できるようにしています。
添乗員は運転ができるのか。運転手が急に意識がなくなる等で運転ができない場合の対応に不安である。	現時点では、添乗員は児童のケアをすることを考えていたため、運転できるかどうかは確認しておりません。バスの運転ができる有資格者は難しいかもしれませんが、その辺も含めて、対応可能かバス業者と協議してみます。
新設の話もホームページやもりんふおで情報発信はあるのか。	もし新設するという事になれば、用地買収から始めることになると思われますので、計画等は早めに発信いたします。
朝のバス停は三丁目とヨークベニマルの 2 箇所だが、住んでいる場所で決まるのか。それとも選べるのか。	朝のバス停は、元々はヨークベニマル 1 箇所で考えていましたが、遠い地区にお住まいの方もいるため、松並青葉三丁目のバス停を乗車箇所としました。希望制により使用するバス停を決めることができます。
バス停まで親が送ることは必須なのか。子どもが一人で行けるのであれば子どものみで良いのか。	保護者判断でお任せいたします。新 1 年生なので、保護者と一緒の方が安全だと市では考えておりますが、最終的には保護者の判断になります。
放課後子ども教室・児童クラブ利用者がバスを利用する場合は、送迎ができないこと	正式な様式は用意できていませんが、スクールバス利用の申込をされた方には、事情

を申請する様式などはあるのか。	の確認はさせていただくことを予定しています。児童クラブの利用時間と就労時間、車の所有などを確認し、相談させていただきたいです。
学校施設見学会は子連れでも良いか。	お子様連れでも参加は可能です。
中学校にもスクールバスを出す検討はしていただいているのか。	申し訳ありませんが、中学校に関しては国の通学距離の目安が6kmとなっているため、中学校は自転車で通学していただきたいと思います。スクールバスの導入は検討していません。
全員が黒内小を希望した場合、黒内小は受け入れられるのか。黒内小には定員がないという認識で良いか。	定員はないため、黒内小学校で受け入れ可能です。 ただ、理科室などの特別教室が不足することが想定されるため、校庭をつぶさない形で特別教室棟をプレハブで設置することで準備を進めています。完成目途は、令和7年6月以降となっています。
本日の説明会の資料を可能であれば事前にホームページに掲載してほしい。	本日の資料は、既にホームページで公開済みとなっています。動画で公開してほしいとの意見もありましたので、今後、説明付き動画で掲載し直すことを予定しています。
定員超過が起こり得るのは御所ヶ丘小と郷州小のみであり、黒内小では起こらないということか。	その通りです。 黒内小学校は本来の就学先であるため、定員は設けておりません。 逆に、御所ヶ丘小学校と郷州小学校は、選択ができる学校という位置づけのため定員を設けております。
特別支援学級に通うような子もスクールバスを利用できるか。	お子様の状況によると考えています。例えばひとりで座ってシートベルトができるか、20分座っていられるかとかの状況によると思います。 スクールバスに乗ることが可能かどうか保護者様と相談しながら決定していきたいと考えています。
特別支援学級の教員の数は足りるのか。というのも、今日は特別支援の対応ができる先生がいらないから、保護者に学校に来てほしいと言われたという話を聞いたことがある。	そのことは把握しておりませんでした。児童8人に1人の教員が付くということが国の基準で決まっていることですので、そのようなことがないように対応したいと思います。
普通学級か支援学級に通うかは秋に検討す	申込締切はバス事業者との契約の関係で、7

ると聞いているが、発達検査の状況によって検討したい。発達検査は病院が混んでいてまだ受けられておらず、7月24日に間に合わない。何か対応は可能か。	月24日に設定させていただきました。そのため、締切の延長できかねますが、どのような対応ができるかについては、療育教室の先生等と相談して決定していきたいと思います。
学校行事に親が車で行くと駐車場が足りないと思うが、どのように考えているか。	保護者の皆様用の臨時駐車場を設けるとともに、臨時バスの運行を検討しています。
仮に御所ヶ丘小に70人の希望があり、郷州小希望者が45人で定員ぴったりの場合、御所ヶ丘小で定員オーバーの10人はどうなるか。第2希望が郷州小であれば55人扱いで抽選になるのか。	現在、抽選は一回と考えています。 第1希望で抽選が外れた場合に、第2希望に郷州小学校を出されたとしてもすでに郷州小学校は定員ぴったりであれば、再度抽選にはならない想定です。 スライドの数値は目安であり、また希望者が多い場合は、学校と相談して3学級ではなく4学級受入れ可能かなどを相談していきたいと思います。 受付状況については、市HPで地区ごとに随時公開する予定です。
800人台になることが見込まれた時点で終了時期を検討とあるが、およそどれくらい先の想定か。また、その想定は約束していただけるか。	現時点では最低10年はかかると想定しています。それまでのスクールバスの運行はお約束いたします。
対象学年が2年生以上も希望により可とあるが、バスには何人乗車できるのか。	大型バスの場合55名程度の定員です。
初年度は3割程度と言っているが、最大で10台以上のバスが運行されることも想定していて、その場合の安全対策もきちんと考えているということで良いか。	対応してまいります。
出発時間は7時半1本か。 また、帰りの下校時は何本出るのか。	登校は7時半1回を考えています。 帰りは学年別にバスを用意することを考えていますが、運用する中で不便が被らないように見直すこともあると考えています。
児童クラブの長期休暇時の受入人数はプラス分ということか。	平日利用のプラス分です。 1室増設予定のため、受入れ可能です。
中学校でスクールバスを出さないのは、6km圏内が通学対象という国などの上部組織のルールがあるから、市はそれに従うということか。前にも歩道橋の話のときと同じ様な回答だった。	歩道橋につきましても、市費で設置することになれば、県の予算で対応するものについて、なぜ市の税金を投入しなければならないのかという御意見をいただくことにもなります。 また、その件については竜ヶ崎工事事務所

	にも再度設置要望はしております。 スクールバスについても、市内で既に子どもたちは自転車通学で遠くから通っているということもありますので、御理解いただきたいと思います。
中学校の情報はなぜないのか。	中学校情報は、小学校情報の後ろのページに掲載しております。
説明会の開催は今回が最後か。スクールバスの事業者や添乗員などの具体的な内容に関する説明会はないのか。	現時点では、入学者が決定した後に、制度設計について詳細の説明会を実施予定です。
今回のように、令和8年度向けの説明会はあるか。	制度が始まったばかりであるため、軌道に乗るまでは毎年実施したいと考えています。
学校施設見学会は今年のみか。	施設見学会も毎年実施したいと考えております。
三丁目のバス停には屋根などがないが、安全にいられる場所になるような検討はしているのか。きょうだいの帰りが別々の可能性がある。帰り時に1つに集まれる場所を検討していただきたい。	三丁目のバス停についての対応は考えておりません。ただ、1箇所目のバス停であるため、時間は確実に到着するようにしたいと思います。
最大数が学校を変更したら、各校のクラスごとの人数は何人になるか。	1クラスの定員は35人ですが、郷州小学校と御所ヶ丘小学校の2校については30人程度となる予定です。 黒内小学校は抜けた人数を差し引いた数になります。
800人台が見込まれた時点で終了時期を検討とあるが、子どもが1年生の場合、卒業まで同じ学校にスクールバスで通えるのか。	卒業まではバスを継続したいと思っています。
バスの制度は市費か県費か。どれくらいの費用がかかるか。	市の負担となります。 移動していただける人数やバスの大きさにより変動しますが、現時点で終了が17年後とした場合、約8億円を想定しています。年間の算出はその年によって異なりますが、大型バスとシステム等のみで、初年度だけでみると、3,600万円ほどとなることを試算しています。
(意見) 下校時のイメージがつかない。下校時のルールを決めた方が良いので、あらかじめ提示してほしい。	御意見ありがとうございます。

HRが長引いたり、係などで遅くなる児童もいるため、学年別での出発は個人的には難しいと思う。第1便、第2便のようにしてもいいのではないかな。 子どもの学校での活動を想定し、子どもの目線でシミュレーションをすれば、もっと使いやすいバスになると思う。	
バス通学を始めるに当たって、PTAとの調整は行っているか。	PTAのあり方については、教育委員会が決定することではありませんが、各小学校のPTA役員には今回の制度について説明しております。例えば郷州小学校では、距離が遠いから参加への関わり方について検討する必要があるとの意見が出されるなど、PTAで検討されていくものだと考えています。
特別支援学級を使っていて、人数が少ないところでのんびり過ごさせたい。 ゆとりのある学校は魅力的だが、途中で学校を変更するのはかけになる。 子どもも見学ができる機会がほしい。	就学の際は、未就学の時点でも事前に就学する学校に見学に行かれると思いますが、今回のケースでも教育指導課を通して調整したいと思いますので、御連絡をお待ちしております。
バスが通ると周辺は渋滞すると思う。現在でも、集団登校時は出勤する方の車が多く道路を渡る状況であるため、安全確保のため交通誘導が必要である。検討課題にしてほしい。	バス停補助員を配置することはお約束いたしますので、バス停までの間は、可能な限り保護者の皆様の御協力をいただきたいと思います。 ただし、状況に応じて、通学補助員の配置増員も状況に応じて検討していきたいと思っています。
松並青葉地区の子が誰も他の学校へ行かなかった場合でも、黒内小は1クラス35人以下を保てるうえ、受入れは可能か。	1学級35人は国の基準であるため、それを超えることはありません。 また、現在の推計であれば受入れ可能となっています。 ただし、特別教室が足りなくなる可能性があるため、特別教室と多用途で使える教室を新たにプレハブ教室で設置対応する予定です。
令和7年度にバス利用者が少数だった場合、次年度以降もバス利用者が少ないことが考えられる。それでもこの制度は続いていくのか。	続いていきますが、市としては、他の学校の魅力を発信することで、他の学校を選んでいただく人が増えるように対応したいと考えています。
公立学校で教育に大きく差があることに疑問を感じています。共通されている部分も	学校説明会は、共通部分とその他の魅力が分かるように実施する予定のため、ぜひ御

示したうえで違いを示した方が良いと思う。	参加いただければと思います。
下校時の到着時間に誤差があるとバス停まで迎えに行く時間の調整が難しいので、アプリなどで時間がわかるような対策をしてほしい。	バス停や送迎ステーションまでのお迎えは、放課後子ども教室や児童クラブ利用者を想定しています。通常下校で帰宅する児童については、バス停までのお迎えを義務付けてはおりません。 ただし、アプリ（もしくはシステム）で乗車状況等を確認し、お迎え時間が分かるように調整していきたいと考えています。
クラス編成時に、松並青葉の児童は同じクラスになるような配慮はあるのか。	学校では、幼児教育施設からの情報を基に学級編成を行っています。今回も、（松並青葉地区という）地域性について配慮をした上で、幼児教育施設からの情報を基に編成できると思います。
スクールバスや学校選択制度がある他の自治体はあるか。	スクールバスを運行している事例は県内にいくつもありますが、特定地域選択制度でスクールバスを運行している自治体は確認できていません。 スクールバスの、特に下校時間の設定については、分かりやすくお示しできるように、他自治体事例を検証していきます。